

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員	富田 幹彦	実務経験とその関連資格	福祉事務所でのケースワーカー。障害者支援施設(身体・知的)・重症心身障害児者施設・障害者就労継続支援事業所(精神)での相談業務及び運営管理。成年後見人。 資格＝社会福祉士、精神保健福祉士			
《授業科目における学習内容》						
社会保障制度のうち、社会福祉における各分野の実態と課題を知り、それに対する施策を学ぶと共に、医療現場、地域社会等多様な現場で展開される社会福祉実践の共通基盤として、援助の種類や方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度3 社会福祉						
《授業外における学習方法》						
・教科書で指摘した個所について理解を確実なものにすること ・社会の様々な事象に触れた際、授業で学んだことを想起すること						
《履修に当たっての留意点》						
・講義中の「例え話」から教科書に記載されている内容の本質を理解すること。 ・熱い思いを受け止めて欲しい!!						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉について、その実態と課題を知り、それに対する施策については、介護保障施策と併せて総合的に理解する		教科書	事前通知の事項について、教科書の中から見つけておくこと
		各コマにおける授業予定	社会福祉の分野とサービス(高齢者福祉)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉について、その実態と課題を知り、それに対する施策を理解する		教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の分野とサービス(障害者福祉)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉について、その実態と課題を知り、それに対する施策を理解する		教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の分野とサービス(障害者福祉)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童家庭福祉について、その実態と課題を知り、それに対する施策を理解する		教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の分野とサービス(児童家庭福祉)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	援助について学ぶ。医療現場、地域社会など多様な現場で展開される社会福祉実践の共通基盤として、援助が必要な場面、援助の方法について理解する		教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の実践と医療・看護(援助技術)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療・看護と社会福祉の関連を学び、職種間での連携の重要性を理解する。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の実践と医療・看護（援助技術）		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	職種間連携、機関間連携等において、それぞれの役割を活かした援助が出来るよう具体的な連携方法について理解する 我が国と諸外国の社会福祉の歴史について、時代ごとの社会的背景や生活支援の特徴を学び、その時代の社会のあり方や生活上の問題、福祉の理念と関連付けた理解をする	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	社会福祉の実践と医療・看護（連携）、社会福祉の歴史		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「社会福祉制度のポイント」としてまとめた項目を復習理解する	教科書 ポイント要約表	これまでの事前通知項目を振り返っておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			